

株式会社シンフォーム



最新のワイヤレス ネットワーク環境が支える 全社的なワークスタイル変革への取り組み



導入ソリューション

- Cisco CleanAir テクノロジー対応
ワイヤレス ネットワーク ソリューション
- ・ Cisco Aironet 3500 シリーズ アクセスポイント
 - ・ Cisco 5500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラ
 - ・ Cisco Wireless Control System

導入前の課題、検討事例

- ・ 本社オフィスを一新してワークスタイルの変革を促し、社内業務の効率と生産性の向上を図る際に、そのインフラとしてクライアント PC のネットワークを有線 LAN からワイヤレス LAN へ置き換えることを検討した
- ・ ベネッセグループへのワイヤレス LAN 導入におけるテストパイロット的な立場として、先駆的に実践とノウハウの蓄積を行おうと考えていた

導入効果

- ・ ノート PC を持ち運べば社内のどこでも仕事ができるフレキシブルな働き方が可能となり、日々の業務効率が飛躍的に高まっている
- ・ Cisco CleanAir テクノロジーによって常に安定した電波状態を維持し、ワイヤレス ネットワークの運用管理も簡便化。使いやすく、信頼性の高い環境を実現している

ベネッセグループの業務システム開発とインフラ構築を担うシンフォームは、より働きやすく、生産性を高められる環境を実現するために本社オフィスを一新した。ワークスタイルの変革を支えるインフラとしてワイヤレス ネットワークの導入を決断した同社は、Cisco CleanAir テクノロジーに対応した最新のソリューションを選択。日々の業務や運用管理で大きなメリットを享受している。

導入のきっかけ——新たなワークスタイルの実現に必要なインフラとして検討

シンフォームでは、新たなワークスタイル実現に向けて本社オフィスを一新する際、有線 LAN の制約を取り払い“働きやすい環境”に必要なインフラとして、ワイヤレス LAN の導入を検討。シスコのソリューションを選択することで、使いやすく、信頼性に優れたインフラを構築した。

シスコを選んだ理由——運用管理の一元化、効率化、迅速化を実現できる点を評価

今回、シスコを選んだ理由としては、

- ・ 最新テクノロジーの Cisco CleanAir に対応し、高品質のワイヤレス LAN 環境を一元的、効率的に運用できること
- ・ ワイヤレス ネットワーク ソリューションのスタンダード的な存在であり、通信の信頼性、安定性に優れていることを評価。機能、性能とも要件を十分以上に満たしていたこと
- ・ すでにシスコ製品を利用しており、それらとの親和性を考慮したことが挙げられる。

導入プロセス——部署単位の移行プランを策定。アクセスポイントの導入はスムーズ

固定アドレスの有線 LAN から移行するため、ネットワークを新規に設計。アクセスポイントなどワイヤレス LAN そのものの導入と設定はスムーズに行えた。

導入効果——日々の業務が大幅に効率化。運用管理も簡便で各種対応がスピーディに

- ・ ノート PC を持ち運べば社内のどこでも最新の資料を活用でき、事前の準備や印刷が不要になったことで、時間の有効活用やペーパーレス化による無駄の削減が促進された。
- ・ アクセスポイントの設定や管理が一元的、自律的に行えるほか、クライアント状態の確認、障害時の切り分けなどを迅速に行える。

今後の展開——スマートデバイス対応、ベネッセ各拠点へのワイヤレス LAN 導入

- ・ ゲストアクセス、スマートフォンやタブレット端末などを活用したいという社内のニーズに応えていきたい。
- ・ ベネッセグループの中で先駆的にノウハウの蓄積など進めていきたい。



株式会社シンフォーム
インフラ・イントラ本部
IT サービス開発部
副部長

吉田 秀史 様

新たなワークスタイルを実現する施策の 1 つとして クライアント アクセスのフルワイヤレス化を実践

導入の経緯

ベネッセグループの事業運営に必要なシステムの開発、IT インフラの構築を行っているシンフォームは、「ワークスタイルの変革とオープンなコミュニケーション」というテーマの下、本社オフィスを一新した。会社として新しいワークスタイルに向けた取り組みを進め、業務の効率や生産性を高められる“働きやすい職場”を実現している。そのコンセプトを具現化する施策の 1 つに社内 LAN のワイヤレス化があり、それまで有線だけだったクライアント PC のアクセス環境は大きく変わることとなった。

同社は以前からシスコのネットワーク製品を使っているが、今回改めて検討を行った結果、最新の Cisco CleanAir テクノロジーに対応したワイヤレス ネットワーク ソリューションを採用し、運用管理面でも確かな効果を得ている。

インフラ・イントラ本部の吉田秀史氏は、今回の経緯を次のように話す。

「ワークスタイルの面では、机に縛られることなく、状況に応じた場所で仕事ができるようにしたいというコンセプトがありました。以前は部門間の交流や互いの状況把握がしにくく、オフィス環境としてもパーティションで区切るなどしていたので、そうした隔たりを取り払いたいと考えたのです。また、レイアウト変更に伴う工事や再設定といった、これまでのしがらみをなくすことも重要と思っていました。

LAN 環境のワイヤレス化は最初から必須としていたわけではなく、新しいワークスタイルの実現に何が必要かを検討していく中で挙がってきたものです。」

シスコのソリューションを選んだ理由を、インフラ・イントラ本部長の重藤俊司氏は次のように話す。「クライアント PC のアクセスを原則ワイヤレスにするということで、快適な業務環境を整えるために、通信の安定性や信頼性は特に重視しました。シスコのワイヤレス ネットワーク ソリューションはほぼスタンダードと言えますし、Cisco CleanAir テクノロジーによって運用管理の負担を減らせるのも評価のポイントです。すでにシスコ製品を使っていたので、それらとの親和性も考慮しました。」



株式会社シンフォーム
インフラ・イントラ本部
IT サービス開発部
IT サービス開発 3 課

重藤 俊司 様

ネットワーク設計と部署ごとの移行対応は苦労したが ワイヤレス LAN そのものの導入はスムーズ

導入プロセス

ワイヤレス LAN の検討を始めた 2010 年夏頃から、新しい本社オフィスが竣工する 2010 年 12 月にかけて、テスト期間を含め 2 ～ 3 ヶ月での構築となった。それまで同社の LAN は有線のみで、クライアント PC はすべて固定アドレスで管理していたため、ネットワーク設計で少々悩んだとのこと。システム構築会社ならではの懸案もあったと重藤氏は話す。

「社内にはさまざまな PC や機材があり、部署ごとに使い方も異なるので、個別の移行プランを立てて対応するところは苦労しました。逆にアクセスポイントの設定などはすんなり進んだと思います。」

アクセスポイントは Cisco CleanAir 対応の Cisco Aironet 3500 シリーズを合計 58 台導入。事前にアセスメントを行い、設計どおりに配置されている。



シンフォームの
新しいワークスタイル
コンセプト

セルフ・ジャッジメント

自ら目的に合わせて選べる作業
環境

ボーダレス・ワーク

部門や会社を超えて繋がりを広
げる

イージー・クリエイティング

自己知識の枠を超え、チーム知
識で価値創造



株式会社シンフォーム
人事組織部
矢谷 佳世 様

ワイヤレス LAN の運用管理を 簡便化、省力化する Cisco CleanAir テクノロジー

Cisco CleanAir は、ワイヤレス LAN の状態を自律的に最適化でき、通信の安定性、信頼性を保つ電波資源管理機能も備える最新のテクノロジーです。ネットワーク管理者は、管理コンソール画面上ですべての状態を視覚的に確認し、障害の原因特定や、アクセスポイントの設定変更による問題解決をスピーディに行えます。シンフォームでは、以下のコンポーネントを導入、活用しています。

構成コンポーネント

- Cisco Aironet 3500 シリーズ アクセスポイント
- Cisco 5500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラ
- Cisco Wireless Control System (WCS)

主な機能



電波の干渉源を知る

無断で追加されたアクセスポイント？ Bluetooth デバイス？ 電子レンジ？



干渉を自動的に回避する

リモートで設定変更、最適なチャネルの自動選択などスピーディに対応

セキュリティについては、IEEE 802.1x による認証、通信の暗号化など必要な方策を採っている。この点について吉田氏は次のように話す。

「ベネッセは教育事業に携わっており、膨大な個人情報を管理しています。弊社はそうした事業で使われるシステムの構築を行っているので、セキュリティについてはベネッセと同様に厳しく考え、保つように努めています。ワイヤレスだからという不安は特にはないですね。」

働き方や PC 利用の仕方が大きく変わりメリットを実感 ネットワークの運用管理や切り分け対応も大幅に効率化

導入効果

新しいオフィスはデスクワーク以外での PC の使い方そのものが変わり、“働きやすさ”が大きく高まっている。オフィスフロアはパーティションがほぼなくなり、社員の意識も風通しよく感じられるようになった。また、新たに設けられた「オーバルスペース」（コラボレーションスペース）は、壁や床のカラーリングからデスクのデザイン、使い勝手にもこだわっている。隣接するオープンデスクでもワイヤレス LAN が利用でき、これらは社員からも非常に好評とのこと。

人事組織部の矢谷佳世氏は、間接業務の削減、時間の有効活用、ペーパーレス化などさまざまなメリットを挙げる。

「例えば会議の場合、以前は会議室の予約、共用している PC の手配、資料の準備や印刷、さらにセキュリティの関係で文書を持ち出す際の所定の手続きなど、さまざまな間接業務がありました。今はノート PC を持ち運べば社内のどこでも最新の文書や資料を使えますし、オーバルスペースや共用スペースも充実したので、所定の時間に移動すれば、その場ですぐ仕事ができます。間接業務が不要になり、仕事のスピードは格段に上がりましたね。資料の印刷にかかる時間や用紙コストも削減でき、ユーザの立場でもあらゆる面で効率化されていると思います。」
同社 Web サイトの採用情報コーナーでは新しいオフィスを積極的に紹介しており、就職活動中の学生からも注目を集めている。オーバルスペースで説明会を催した際は社員の働く姿を間近に見られるなど、リアルな体験を評価する声が多かったという。

システム面では Cisco CleanAir テクノロジーの特長が十分に発揮され、こちらもメリットを実感していると重藤氏は話す。

「アクセスポイントの設定は一元的、自律的に行えるので非常に楽ですね。新たに追加する場合でも個別の設定は不要ですし、ぱっと導入してすぐ使える、メンテナンスフリーという点は評価しています。また管理ソリューションによってクライアントの状態を簡単に把握できるようになり、障害時などの切り分けもスピーディです。電波の干渉も自動的に回避され、誰もが安定した状態でアクセスできるのでとても便利になりました。」

グループ全体のワークスタイル変革を支えるテストパイロットとして さらに活用とノウハウの蓄積を進めていく

今後の展開

現在、同社はセキュリティポリシー上、ワイヤレス LAN のゲストアクセスや、スマートフォンをはじめとするモバイル端末の接続を許可していない。社員からはこれらを活用したいという要望も増えており、今後の対応を検討していると重藤氏は話す。

「今は社内の環境と、個人が持ち込む機器の環境を完全に分けています。端末の検証は随時行っていますが、具体的な計画はこれからですね。」

2011 年夏には、ベネッセ岡山本社や東京本部など大規模な拠点へのワイヤレス LAN 導入が決まっている。今後各拠点でワイヤレス LAN が利用可能になれば、グループ全体でワークスタイルの変革が進むだろうと吉田氏は話してくれた。

「弊社は業務上ネットワーク環境に対してシビアなので、ここでうまくいけば、ベネッセ側にも問題なく展開できるだろうというテストパイロット的な立場でもあります。夏の時点では、弊社のようにクライアント環境の有線 LAN をなくすところまではいかないのですが、ベネッセ社内の働き方も次第に変わっていくでしょう。ゆくゆくは、ベネッセも完全にワイヤレス化という展開があるかもしれません。全社的なワークスタイル変革の基礎としても役立つように、さらにノウハウを蓄積していければと思っています。」

株式会社シンフォーム



本社所在地

岡山市北区高柳東町 10-1

設立

1971 年

資本金

9,500 万円 (2011 年 6 月 1 日現在)

従業員数

520 名 (2011 年 6 月 1 日現在)

1971 年、岡山市に「関西写植センター」として設立、1987 年の現社名への変更と共に、ベネッセコーポレーションの情報処理を主体とする会社に業態を転換。現在ではベネッセグループ各社の IT システム開発・運用、IT インフラ環境構築を通じて、ベネッセグループの事業（教育、生活、シニア・介護、語学）の根幹を支える企業に成長。

同社の事業を象徴的に表しているのが、ベネッセグループの教育事業を代表する「進研ゼミのシステムやデータベースの開発・運用。毎月約 400 万人におよぶ全国の会員のもとに、お客様毎に異なる教科書や学習進度にあわせて、最適な教材を正確にお届けするために必要となる専用のシステムとデータベースの開発・運用。先進の IT 技術と柔軟な発想で顧客ニーズに応えている。

©2011 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は 2011 年 8 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯電話・PHS 含む)

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

お問い合わせ